

医師会会員様向け人間ドックを実施して

ながい あつし
臨床検査科 診療科長 長井 篤

医学部医師会会長の井川病院長の発案で日頃お忙しい医師会の先生方が受検できるようにと、今年度初めての試みとして日曜日に人間ドックを行い、14名(のべ43コース)の先生方に受検いただきました。光学医療診療部、放射線部、検査部スタッフ、医療サービス課が協力して検査スケジュールを組むことで、先生方にはスムーズにオプション検査を回っていただけたと思います。先生方は普段の自己健康管理が困難な場合が多いという印象を受けましたが、当院の高水準なドックにご満足いただけたのではないかと思います。来年度以降も先生方のご意見を汲み入れながら継続実施したいと思いますので、よろしくお願いします。

認知症研修会を実施して

やまぐち しゅうへい
しまね認知症疾患医療センター センター長 山口 修平

世界アルツハイマーデーの前日、9月20日に認知症かかりつけ医研修会を実施し、県内各地域で100名以上の医療関係者にテレビ会議システムで視聴をいただきました。島根県の認知症施策説明の後、日本医科大学の北村伸教授に「認知症の人と家族が安心して暮らすためには～アルツハイマー病治療薬の位置づけと地域連携～」と題して講演をいただきました。都会ならではの産業も巻き込んだ、街ぐるみの認知症支援ネットワーク作りの様子を興味深く拝聴しました。



出雲会場の様子(出雲医師会館)

夜勤等の看護職員専用駐車場を指定しました

夜勤等の看護職員は、出勤時間が午後となっているため、駐車場の確保に苦慮していましたが、当院南側の職員駐車場を、夜勤看護職員専用駐車場とするとともに、これまで便宜的に認めておりました立体駐車場への駐車を取り止めました。これにより、患者さんの駐車環境も改善されるものと期待しています。

なお、この駐車場への駐車には看護部発行の許可証が必要です。許可を受けていない職員の駐車はご遠慮願います。



NEWS

CONTENTS

Ai の活用により進みつつある死因究明

Ai
特集

Aiセンター センター長 法医学講座 教授 たけした はるお
竹下 治男
副センター長 放射線科 診療科長 きたがき はじめ
北垣 一

寄稿 検視における死因究明の現状

島根県警察本部 刑事部捜査第一課 検視官 たけがみ たけし
武上 武志

医師会会員様向け人間ドックを実施して
認知症研修会を実施して
夜勤等の看護職員専用駐車場を指定しました



Ai特集

Aiの活用により進みつつある死因究明

Aiセンター センター長 法医学講座 教授 **たけした はるお**
竹下 治男
 副センター長 放射線科 診療科長 **きたがき はじめ**
北垣 一

当院では、2011年6月27日より中四国地方初となるAi専用CT室を有するAiセンターによるオートプシーイメージング(Autopsy imaging 以下Ai)をスタートさせました。

Aiとは死後の人体を、CTを主とする画像診断でその死因、合併する病態の情報を得ることです。そしてこの情報を診療、司法判断及び教育に役立てることが目的です。

対象は、①当院入院患者さんで死亡を確認した方、②当院外来(救命救急センター)で死亡を確認した方、③本学医学部にご献体となったご遺体、④司法機関依頼のご遺体、⑤地域医療機関依頼のご遺体です。

AiセンターのCT装置は、Ai専用であり、全身を2分間で撮影できる高性能の16列マルチスライスCTです。さらに3D画像作成用ワークステーションを有しており、外傷による全身の損傷程度や骨折の検出のためにVR(Volume Rendering)法による三次元画像表示法を使用でき有用です。検査は27名のお全診療放射線技師(労働安全衛生法によるエックス線作業主任者免許取得済み)が担当し、24時間365日撮影できる体制を整えています。

読影

院内例ではCT撮影後にその場で、主治医と共に致死的な頭蓋内出血、大動脈瘤破裂や大動脈解離といった明らかな死因となりうる所見の有無を確認し、問題があれば病理解剖を勧めることにしています。外部医療機関からの依頼や警察からの依頼の場合は、放射線科医師が読影します。特に警察からの依頼では、CT撮影直後に日本診療放射線技師会が認定するAi認定診療放射線技師、放射線科医師、法医学医師、警察関係者等により、警察捜査における現場状況、放射線科医師や法医学医師の専門の見地からの意見などの総合考察に対応しています。その後、放射線科医師による画像診断報告書をCT画像と一緒に提出しています。また、事件関連や医療事故関連の場合は必要に応じて第三者機関のAi情報センターに読影を依頼します。

実績

2011年6月27日から2014年9月30日までの総検査数は1,304件です(表1)。これは全国的にも他に類を見ない多数例です。内訳は院内死亡が83%、院外死亡が17%です。院内死亡ではほぼ全例AiCT検査の対象であり、これまで入院患者さんの92%(総数の75%)と救急外来患者さんの83%(総数の8%)に実施されています(図1)。警察からの依頼は当初の試験的施行後に高い評価を受け、依頼体数も急増しました。

費用

院外からの依頼に係るAiCT検査費用は、撮影32,832円、読影20,628円です。また、有料(1,620円)にて全画像をDVDで提供しています。

問合せ先 法医学講座 TEL 0853-20-2156

申込み先 地域医療連携センター 平日:TEL 0853-20-2061
 時間外・休日:TEL 0853-20-2000

表1 AiCT検査の検査実績

区分	件数(件)
病棟死亡	981
救急外来死亡	104
献体	144
警察	75
外部医療機関	0
合計	1,304

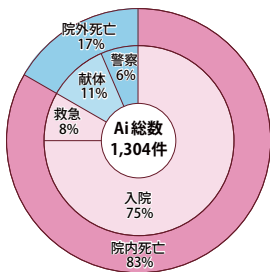


図1 AiCT検査の内訳

寄稿 検視における死因究明の現状

島根県警察本部 刑事部捜査第一課
 検視官 **たけがみ たけし**
武上 武志

～ 死亡時画像診断に視る真実 ～

検視の目的は、死体の犯罪起因性を見極めるとともに、感染症や製品事故など死因や死の原因が他の人に被害を及ぼすおそれがないかを確認し、被害の拡大防止に努めることにあります。つまり、検視における死因究明とは事件性の判断をより強固なものとし、一方で、その死因等が他に被害を及ぼすかどうかの判断を行うためにも必要不可欠なものといえます。

過去には、十分な死因究明を行わなかったために犯罪死を見逃し、検視のあり方が問題となったこともありましたが、その教訓から、昨年4月、死因・身元調査法が施行され、この中で検視で行う死因究明のための検査について規定が設けられました。殆どは、血液や尿からの簡易検査を規定したのですが、その中に死亡時画像診断も死因究明に用いることができると盛り込まれました。

検視における死亡時画像診断は、殆どが病院へ救急搬送された際のCT結果を活用したのですが、一部、警察の判断でAiを行うものもあり、これらを合わせると、警察が扱う死体の約40%で死因究明にAi(CT)を活用していることになり、既に死因究明に欠かすことの出来ないものとなっています。

右に示した事例は、警察が独自に必要な性を認め、Aiセンターに持ち込んでAiを行ったものです。①、②は、外表所見では死因となる損傷が確認できなかったものの、生前の行動や発見状況から外因を疑いAiを行ったところ、死因だけでなく、原死因まで明らかになった事例です。また、③は、いずれも腐敗死体で既往症等が不明だったのですが、Aiの結果、内因死が明らかになった事例です。

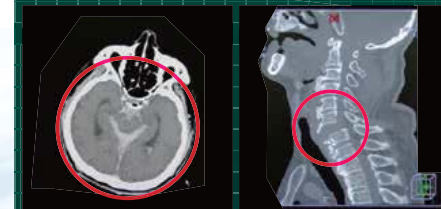
このように、警察では死因究明の有効な手段の一つとしてAiを活用していますが、Aiでは死因となる所見がないことも外因を否定する等、死因を考える上で重要な所見だと考えて利用しています。

また、最近ではAiで低体温症の所見も確認できると聞きました。こうした読影技術の向上はAiにおける死因究明の更なる可能性を広げるものであり、検視で活用する上においても、今後のAiの発展と読影技術の向上に期待したいと思っています。



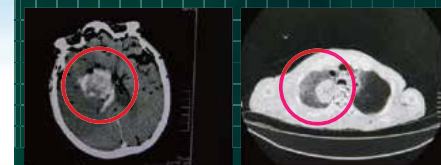
① 自宅居間で伏臥死

3日前に自転車で側溝に転落
 Aiの結果、肋骨・坐骨等の骨折が判明
 死因は外傷性ショック死
 自転車で転落 → サドルで股間殴打、損傷
 外因死を解明



② 自宅土間で仰臥死

発見時、後頭部を支柱に当て頸部湾曲
 Aiの結果、くも膜下出血、第6頸椎脱臼が判明
 死因は頸椎損傷
 くも膜下出血を発症して転倒 → 頸椎損傷
 原因(内因)を解明



③ 2例は、いずれも自宅で死亡

双方とも腐敗があり、既往症不明
 Aiの結果、一方は脳内出血、もう一方は肺に腫瘍(肺癌の疑い)を確認
 腐敗死体でも死因を特定可能



島大病院ニュース
2014年11月

お知らせ

「地方と都会の大学連携ライフイノベーション」について

ひろせ まさひろ
地域医療政策学講座 教授 廣瀬 昌博

リサーチマインドを持った総合診療医の養成を目指す文部科学省未来医療研究人材養成拠点形成事業の一つとして選定された「地方と都会の大学連携ライフイノベーション」プログラムの目的は、地域包括ケアシステムの構築とそのシステムを通じた総合診療医の育成です。厚生労働省が示す地域包括ケアは住まい、医療、介護、予防および生活支援から構成され、多職種のスタッフの関与が不可欠です。そこで、本プログラムでは、総合診療医・内科総合医育成コース、総合診療医指導者養成コース（博士課程）、地域包括ケア人材養成コース（修士課程）および地域包括ケア連携人材養成コース（インテンシブ）の4コースを準備しました。医師はすべてのコースで対象としていますが、地域包括ケアに関する2コースでは、医師以外の医療スタッフをも対象としています。

本プログラムの特徴は、勉学の意志を持ちながらも勤務上、病院を離れることのできない方に対して利便性を図り、トゥワイライトセミナーやオンサイトトレーニングなどを実施しています。とくにトゥワイライトセミナーは9月より開始し、地域包括ケア、総合診療および臨床研究に関するものなど、すべての職種が身につけるべき知識とスキルとともにリサーチマインドを涵養する機会を提供しています。

これを機会に医療スタッフのスキルアップを目指し、是非、ご参加ください。お問い合わせは卒後臨床研修センター・地域包括ケアステーションまでお願いします。



佐藤京都大学教授による医療統計の講義

トワイライトセミナー開催日 ※開始時間 18:30~

期日	タイトル（講義内容）	講師
H26.11.4(火)	地域包括ケアにおける津和野共存病院の取組み 1	須山信夫（津和野共存病院 病院長）
H26.11.18(火)	地域包括ケアにおける津和野共存病院の取組み 2	飯島献一（津和野共存病院 副病院長）
H26.11.25(火)	栄養と摂食	蓼沼 拓（リハビリテーション部 助教）
H26.12.2(火)	地域包括ケアにおけるすずうら医院の取組み-医療経営の観点から-	杉浦弘明（すずうら医院 副病院長）
H26.12.16(火)	未定	
H27.1.6(火)	海外研修（バングラデシュ）報告会	コース登録者 木島康貴(助教)、中山真美(特別研究員)
H27.1.20(火)	タイトル未定	関根浄治（歯科口腔外科 教授）

講演会・セミナー等開催日

期日	名称	講師等予定者
H26.11.29(土)-30(日)	臨床研究ワークショップ(島根大学医学部)	佐藤俊哉（京都大学医療統計学 教授）ほか
H26.12.20(土)	島根県医療経営セミナー(ニューウェルシティ出雲)	迫井正深(厚生労働省 課長)、松田晋哉(産業医科大学 教授)ほか
H27.2.1(日)	地域包括ケア・総合診療シンポジウム	手島英雄(文部科学省 室長)、佐々木昌弘(厚生労働省 室長)ほか

会場一覧【TV会議システム整備先】は裏面をご覧ください。➡

問合せ先 卒後臨床研修センター・地域包括ケアステーション TEL:0853-20-2006

お知らせ
島大病院ニュース

平成26年11月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



● 会場一覧【TV会議システム整備先】

出雲圏域

出雲市民病院
島根県立中央病院
島根大学医学部附属病院
島根県立こころの医療センター
出雲市立総合医療センター
島根県立大学出雲キャンパス

松江圏域

松江市立病院
松江生協病院
松江赤十字病院
安来市立病院
安来第一病院
島根県看護協会

隠岐圏域

隠岐病院
隠岐島前病院

大田圏域

大田市立病院
加藤病院
邑智病院

雲南圏域

雲南市立病院
平成記念病院
奥出雲病院
飯南病院

浜田圏域

浜田医療センター
江津総合病院
西部島根医療福祉センター

益田圏域

益田赤十字病院
益田地域医療センター医師会病院
津和野共存病院
六日市病院



島大病院ニュース
2014年11月

お知らせ

第4回島大総合医セミナー

飯塚病院 総合診療科

清田雅智先生を招いて

この度、第4回島大総合医セミナーを開催致します。前回に引き続き、飯塚病院総合診療部 清田雅智先生をお招きしてレクチャーと症例検討を行ないます。多数のご参加と活発な討論をお願い致します。

**参加費
無料**
事前申し込みは
不要です。

平成26年

11月21日(金)

18:00~20:00

於:ギャラクシー(みらい棟 4F)



みらい棟玄関

みらい棟玄関(立体駐車場側)からお入り下さい。
西門から入られると右手に駐車場があります。

1. レクチャー

『Electrolyte Duet: hyponatremia and hypokalemia』

60分

2. 症例検討

60分

※11月21日のセミナーは島根県医師会指定の生涯教育講座 **2** 単位 です。

11月22日(土) 9:00~12:00

・実地診療指導

今回も当院ERに於いてwalk in patientを対象とする実地診療指導を行ないます。
要領は21日のセミナー時に説明します。

本セミナーは、文部科学省「未来医療研究人材養成拠点形成事業「リサーチマインドを持った総合診療医の養成」の一環として、継続的に開催いたします。島根における総合診療・救急医療のさらなる発展を目指して皆様のご意見、ご提案をお寄せください。

主催: 島根大学医学部附属病院 / 島根大学医学部医師会

問合せ先 (当番世話人): 呼吸器・化学療法内科 粟屋幸一 TEL:0853-23-2111(代) 内線:2580

お知らせ
島大病院ニュース

平成26年11月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>

